

## まちづくりオープンミーティング意見概要（6/20 志方公民館）

志方町を通る県道 118 号線は、道が狭いうえにトラックやダンプカーの通行が多く危険である。通学時間中はダンプカーを通さないようにするなど、まずはソフト面からルールをつくっていただきたい。
志方町における小中学校規模適正化の実施はいつ頃を想定しているか。また、通学の手段についてはどのように検討しているか。
小学校の校門が開いたままの箇所があり、不審者侵入などの危険性がある。校門の管理についてどういう決まりになっているのか。
若者が帰ってきても働くところがないため人が増えない。企業誘致などを通して、働く場所があるようにしていただきたい。
住宅を建て替えるのに、調整区域の制度が複雑で住民に分かりづらい。知らずに取り壊した場合の救済策など、まちづくりの観点から調整区域のルールを再考していただきたい。
市提案型田園まちづくり制度の線引きを修正することについて、再度、まちづくり協議会をつくり検討するのではなく、柔軟に対応できないか。
既存の空き地を活用（保育ステーションを置いて子どもが集まる場所を作るなど）することで、人口減少を逆手にとった地域活性化を検討していただきたい。
幼稚園の年少クラスがないことについて、どのように考えているか。
バス路線を早く整備し、時刻表も毎時何分といった覚えやすい時刻にしていいただきたい。また、加古川駅行きのバス路線がほしい。
高齢者による交通事故が話題となっているが、移動手段をかこバスだけで補うのは難しい。高齢者が安心して車に乗るための装置への補助などは、検討しているか。
志方東公園横のトイレは、壁の破損や鉄骨の錆びなど傷みが進み利用しづらい。現場を見て早急に整備をしていただきたい。
子育て世代が住みやすいまちとなるために、雇用・住宅・学校への取り組み（志方の地元企業を応援、宝殿駅の活性化によるＵターン、不登校への対応）を検討していただきたい。
地域の公園で野球ができるようにしていただきたい。
指定管理者が運営する光熱費の使い方について、節約した分は管理者に還元される仕組みがあれば、さらなる節約に繋がるのではないかと考えている。